

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年10月18日(金) NO17 文責 きした 木下 ふみあき 文秋

秋の県大会壮行会から

今日は宮崎県中学校秋季体育大会の壮行会です。地区の予選を勝ち抜いた1、2年生が体育館に集まり、3年生を含む多くの生徒から激励を受けています。私から一言話をします。スポーツとは無縁の話です。石川県が正月に大きな地震の被害を受け、夏には大雨による甚大な水害を受けたことを皆さんは知っていることと思います。1000年に一度と言われる地震と、100年に一度と言われる水害が1年のうちにやってきたということになります。夏の水害で中学3年生の女子生徒が行方不明となりました。喜三翼音さん(きそはのん)と言います。彼女は自宅の2階に避難をして、迫り来る濁流の恐怖に耐えながら救助を待っていました。電話で父親に、すぐそこまで濁流が迫ってきていることを伝えると、父親は「必ず迎えが来るから頑張れ。上下長袖のジャージを着なさい。少しでも怪我がないように」と娘さんを励ましたそうです。三股町は盆地なので近くに海がありませんが、石川県や海沿いの場所では、海の近くには必ず川がつながっていて、大雨や濁流にのまれると海に引きこまれてしまいます。彼女は結局40キロ沖合の海に浮いているところを発見されました。損傷が激しかったらしいですが、身に付けていたジャージに名前が書いてあったことで本人との確認がとれたそうです。お父さんは身の安全を考えてジャージを着るように伝えたのに、それが身元確認の手掛かりとなったということになります。以前皆さんに「ありがとう」の対義語は何だと思えますかと質問したことがあります。「ありがとう」の語源は「あり難し」で「めったにない。珍しい」という意味です。ですから「ありがとう」の対義語は「当たり前」となります。彼女はまさか自分がそんな目に合うとは思っていませんでした。自宅の2階で避難していた中3が、沖合40キロまで流されるという悲劇に胸を痛めます。今日は壮行会です。皆さんは地区の代表として県大会に出場します。今の話を聞いて、目の前の大会にどういう気持ちで臨むべきか、心の整理がついたと思います。今ここにいることは「当たり前」ではない。多くの奇跡や支えがあったからです。そのことに感謝しながら、今できることを力いっぱいやるのが大事なことです。災害で亡くなられた多くの方のご冥福を祈るとともに、皆さんが当たり前感謝しながら、県大会の場でプレーすることを期待しています。